

「CO2 排出量の見える化」の最新動向と対応



9月30日(金)広島市内において、リアルとオンライン併用により「CO2 排出量の見える化」をテーマとするセミナーを開催し、会場40名、オンライン160名の出席がありました。

カーボンニュートラル(CN)の実現には、個々の企業の取組みのみならず、サプライチェーン全体でのCO2削減が必要です。

このためには、製品単位でのCO2排出量の把握が取組みの第一歩となることから、第一回セミナーのテーマとして選定しました。

1. 基調講演

①「欧州における脱炭素のサプライチェーン情報ネットワークの最新動向」

【NTTコミュニケーションズ(株)】

同社イノベーションセンター スマートファクトリー推進室/スマートシティ推進室 担当部長 境野 哲 氏より、欧州で先行する多数の企業・組織間でデータ主権を保護しながら、データ連携できる仕組みである「GAIA(ガイア)-X」「Catena(カテナ)-X」の概要など、グローバルな企業間データ連携基盤の現状と日本企業の対応などを紹介いただきました。

②「企業価値向上のための脱炭素経営」【(株)ゼロボード】

同社代表取締役 渡慶次 道隆 氏より、「TCFD 提言」「GHG プロトコル」など国内外の脱炭素化のトレンドを踏まえて、CO2 排出量算定・開示の考え方・方法など日本企業が目指すべき方向性を紹介いただきました。

2. マッチング・イベント

当イベントでは、セミナーでの最新動向の紹介のみならず、地元企業のニーズに対応する具体的なソリューションのため、CN 関連のノウハウを有する企業によるプレゼンテーションにより、両者のマッチングを図る機会を提供しました。

プレゼンテーションをご覧になった参加者の方に、マッチング意向についての調査(入力フォームに意向を登録)を個別に行いました。打合せや詳細資料を希望される参加者の方については、プレゼンテーション企業から連絡をするという形態でマッチングを実施しました。

企業名	プレゼンテーションテーマ
伊藤忠エネクス(株)	「CO2 排出量見える化」サービス ～算定・削減の一気通貫支援サービス～
(株)ゼロボード	企業価値向上のための脱炭素経営 ～サプライチェーンや金融との連携から始める CO2 排出量の見える化～
有限責任監査法人 トーマツ	CO2 見える化および ESG 関連サービス ～製品 LCA 算定、GHG 排出量の第三者保証など～
三井物産(株)	「LCA Plus」 製品単位の CO2 排出量を可視化するプラットフォーム
e-dash(株)	請求書アップロードではじめる自社の CO2 排出量の見える化
(株)NTT ファシリティーズ 中国支店	カーボンニュートラルに向けたサポート概要 ～コンサルティング、設計・構築、運用・マネジメント～